

## IODP 乗船体験と実験デモを通して地球科学の魅力を伝えるトークイベントの実施

## Implementation of Talk Events Communicating Earth Science through Experience of IODP #312 and Experiment

# 櫻井 英雄 [1]; 松原 志緒 [1]; 竹内 恵 [1]

# Hideo Sakurai[1]; Shio Matsuhara[1]; Kei Takeuchi[1]

[1] 日本科学未来館

[1] National Museum of Emerging Science and Innovation

深海底の科学掘削計画 IODP(Integrated Ocean Drilling Program) は、2005 年 7 月の地球深部探査船「ちきゅう」の完成により、日本が米国と共に国際的なリーダーシップをとる新しいステージに入った。日本科学未来館では、地球科学の最先端研究をリードする IODP の活動に注目し、展示、イベント、ウェブ等で一般社会に向けて教育・普及活動を展開している。

2005 年 11 月の IODP 第 312 航海 “高速拡大海嶺で形成された上部海洋地殻の貫通”(パナマ沖)に、日米の科学コミュニケーターが参加し、JOIDES Resolution 号の船上から深海掘削研究の生の現場を未来館ウェブの特設サイトにて日記形式でレポートした。

1 年が経過した 2006 年 11 月から 6 回シリーズで、ジョイデス・レゾリューション号に同乗した研究者、技術者 7 名を日本科学未来館に招き、岩石薄片製作の前処理過程の体験、付加体生成の実験等を通して、地球科学の魅力を伝えるトークイベント「明日のアースサイエンス」を実施した。

本イベントは、サイエンスインタープリターが研究現場を長期間に渡って取材し、現場で感じたこと、地球科学の魅力を同乗研究者・技術者との連続トークで伝える初めての試みである。アンケート結果からは、トークの合間におこなった様々な実験デモが好評で、高い満足度を得ることができた。